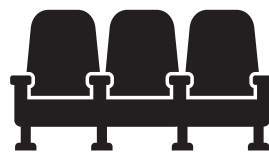


『ライカムで待っとく』関連事業 プレレクチャー



トークイベント

# 劇場で考える



## ～他人ごと、自分ごと～

2024.5.26(日) 14:30～16:00



**会場** 久留米シティプラザ 中会議室 (久留米市六ツ門町8-1 4階)

**料金** 無料 **定員** 30名(先着順)

**申込方法** 次の内容を記載して、電子申請・郵送のいずれかで、お問合せ先までお申込みください。

■氏名(ふりがな) ■住所 ■メールアドレス ■電話番号

■プレレクチャー参加希望

※電子申請には下記のURLか二次元バーコードからアクセスしてください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/7vCrFvms>

※参加者の個人情報については、当事業のために使用し、その他の目的には使用しません。



締切 / 5月16日(木)

参加者  
募集

久留米シティプラザで6月に上演する『ライカムで待っとく』は、アーティストが自身の出身／居住地である沖縄について、独自の視点で捉えた問題を演劇として表現し、社会へ投げかけた作品です。公演を前に、個人が社会に対し、意思を持って働きかけることに焦点を当てたレクチャーを開催します。

私たちは社会にあふれる様々な事象を「他人ごと」としてそれほど気に留めない場合もあれば、「自分ごと」として切実に受け止める場合もあります。このレクチャーでは、生活圏内における気付きを起点に地域社会へ働きかけているゲストをお迎えし、その活動に至った経緯や、活動内容をお聞きします。

「他人ごと」と「自分ごと」の間にはどのような違いがあるのか、一緒に考えてみませんか？

### ゲスト

#### 酒井 咲帆

(株式会社アルバス 代表、いふくまち保育園・ごしょがだに保育園 園長)  
2009年4月に写真館『ALBUS』を福岡市中央区警固に立ち上げ、まちづくりを中心に活動の幅を広げる。2018年「いふくまち保育園」、2021年「ごしょがだに保育園」を福岡市中央区に開園し、隣接する公園を整備、運営しながら、ひらかれた場所づくりを実践している。2022年6月より、共に生きることを手放さないために、デザインの可能性に社会に実装していくプロジェクト「福祉とデザイン」を行う。2児の母。

#### 中垣 忠子

(東国分校区 池の谷自治会 会長)

約40年前から久留米市に在住。池の谷自治会の役員になったことをきっかけに、2018年度から野中町の正源寺山に残る忠霊塔・円形野外講堂・遥拝台などの遺跡について地域住民の理解を深め、平和を語る場にするための取り組みを行う。東国分まちづくり振興会、久留米市文化財保護課と協力しての勉強会や、案内板の製作・設置、戦跡めぐりウォーキング、地元の音楽家と協力した音楽会の開催など、幅広い活動を継続して行っている。

### 進行

#### 長津 結一郎

(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走／伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』(単著。九州大学出版会、2018年)。

#### 【公演情報】

知る／みる／考える 私たちの劇場シリーズ vol.5  
『ライカムで待っとく』



アメリカ占領下の沖縄で起こった米兵殺傷事件に基づくノンフィクションに着想を得て、沖縄在住の劇作家・兼島拓也が書き下ろし、沖縄に出自を持つ田中麻衣子が演出を手掛けた演劇作品。「沖縄の犠牲の上に成り立っている日本という国」という想いを織り込んだ本作は、過去、現在、未来が交錯する軽快なミステリータッチの物語。「沖縄の問題」はなぜ「日本の問題」として語られないのか、ここ久留米で問い直す。

日時 | 2024年6月15日(土) 13:00開演(上演時間2時間程度(休憩なし))

会場 | 久留米シティプラザ 久留米座

チケット発売 | 4月13日(土)10:00～ (企画制作)KAAT神奈川芸術劇場

〈お問合せ〉久留米シティプラザ 事業制作課 / 〒830-0031 久留米市六ツ門町8-1 / TEL: 0942-36-3000 (10:00～19:00 休館日を除く)

〈助成〉一般財団法人地域創造 〈主催〉久留米シティプラザ(久留米市)